



2024 瑞浪市制70周年

第66号

令和5年4月

土岐地区まちづくり広報

とすめき

「草刈り女子育成教室」を開催します（予告）

【せらむ】

- ◎各地で「どんど」が焚かれました
- ◎土岐小3年生が櫻堂薬師を勉強しました
- ◎鶴ヶ城・天神山城・裏天神山城を歩きました
- ◎土岐地区青少年育成町民会議が開かれました

【探訪と再発見】

鶴ヶ城・天神山城・裏天神山城



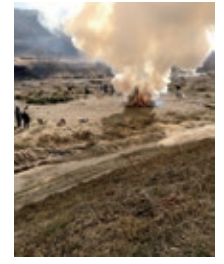
写真：櫻堂薬師の桜並木

各地で「どんど」が焚かれました

正月飾りを目印に家にきてくださった年神様を、正月飾りを燃やした煙とともに天上へお見送りする「どんど」が多くのもので行われました。正月の縁起物を燃やして、五穀豊穡・商売繁盛・家内安全・無病息災を願います。また、子どもたちは書き初めや学習成果を火にくべ、勉強や習い事の上達を願ったりします。神聖な炎でお焚き上げる「どんど」には、縁起の良い言い伝えが残っています。

☆書き初めやテストを燃やした火が高く上がると字が上手くなる・賢くなる ☆どんどの火で焼いた餅や団子などを食べると一年間風邪を引かない、病気になる、虫歯にならない ☆灰を持ち帰って自宅の庭などに撒くと家内安全、家族の無病息災のご利益が授かるなど・・・。

<写真は木ノ暮区のどんど焼きの様子（中央橋そばの河川敷）>



土岐小3年生が櫻堂薬師を勉強しました

1月17日（火）、櫻堂薬師で、土岐小学校の3年児童46名が櫻堂薬師保存会の皆さんを「地域の先生」にして、「総合的な学習の時間：大好き土岐町」の勉強会を行いました。複数のグループに分かれ、仁王堂や観音堂、仏像群や奉納品といった宝物について説明を受けながら櫻堂薬師の素晴らしさを学びました。身近な場所にあっても来たことがない児童も多く、目を輝かせながら地域の先生の話に聞き入っていました。



鶴ヶ城・天神山城・裏天神山城を歩きました

1月22日（日）、みずなみかたりべの会の主催で、鶴ヶ城・天神山城・裏天神山城を歩く会が開催されました。市内外から40名の参加者があり、かたりべの会のスタッフ20名とともに、整備が進んだ三つの山城跡を歩きました。小学生や女性の参加も多くあり、郷土の魅力が多くの人に伝わりました。

*三つの山城の詳細については、本号「探訪と再発見」をご覧ください。



裏天神山城 斜め堀切



天神山城 食違い堀切



裏天神山城 豎堀

土岐地区青少年育成町民会議が開かれました

2月14日(火)、土岐地区青少年育成町民会議が開かれました。土岐小学校の加藤隆史校長からは、本年度から始まった地域ぐるみで子どもを育てる取り組み「土岐小学校コミュニティ・スクール」が順調に展開していることが報告されました。

また、瑞浪北中学校の岩島哲也校長からは、開校から4年が経って、全生徒に瑞浪北中の生徒としての自覚が定着して、生徒会を中心に地区を越えた大きな活動が行えるようになっていることが報告されました。

どちらの学校からも、地域と学校との連携が進み、子どもたちが豊かに育って来ていることが伝わってきました。



まちづくり土屋会長挨拶の様子



市教委のコミュニティ・スクール説明



土岐小学校 加藤隆史校長



瑞浪北中学校 岩島哲也校長

土岐地区まちづくり推進協議会 主催

「草刈り女子育成教室」を開催します(予告)

「私も草刈り機を使えるようになってみたい!」「でも草刈り機って、なんか怖そう」…そんなあなたに、騒音も煙も出ず、スイッチひとつで起動できる電動草刈り機を使った初心者向けの草刈り教室を開催します。

この教室を受講された方には、その後も、好きな時にマキタの電動草刈り機を無料で貸し出しをする予定です。自宅の周りのほか地域清掃や学校の奉仕作業などでも、どしどし使ってどんどん活躍して下さい。

株式会社マキタの社員さんが講師を務め、たった半日で「うちのかあちゃんカッコイイ!」といわれるよう優しくしっかりと使い方を指導します。**このイベントの詳細は、本紙67号(6月号)に掲載予定です。**乞うご期待!



教室の概要

講座内容：座学+実地講座(合計半日予定)

使用機種：マキタの最新電動草刈り機

対象者：土岐地区在住または在勤の女性限定

電動草刈り機の特長(従来型ガソリンエンジンとの比較)

- ☆軽量・簡単操作で女性でも楽々作業
- ☆作動音・振動がほとんどない
- ☆一酸化炭素、二酸化炭素を出さない
- ☆環境にやさしい
- ☆面倒な混合ガソリンの手間がない
- ☆エンジン機と遜色のないパワーと作業時間

鶴ヶ城 天神山城と裏天神山城

鶴ヶ城は鶴城区にある山城の跡で、その築城年代は明らかではありませんが、美濃守護・土岐光衡によって築かれたと伝えられ、神籠(こうの)城、土岐城などとも呼ばれています。

戦国時代、東濃地方は尾張(愛知県)に拠点を置く織田軍と、甲斐(山梨県)から京都へと進軍する武田軍の勢力が衝突する地域となり、永禄8年(1565)頃には高野口(現土岐町)で織田・武田両軍の軍事衝突が起きています。また、天正2年(1574)に武田軍が恵那郡南部に進軍して明知城を包囲すると、織田信長はこの鶴ヶ城に立ち寄り、鶴ヶ城と小里城(瑞浪市稲津町)の守りを固めるよう城の普請を行っています。また、天正10年(1582)、織田勢の甲斐への侵攻(武田征伐)の際にも信長は鶴ヶ城に立ち寄っています。中央道横の諏訪神社は鶴ヶ城の正面玄関となる大手門の跡で、ここに石碑があり、本丸跡には案内板が建てられています。

天神山城と裏天神山城は、鶴ヶ城の地形図から北東の守りが薄いことに気づいた各務原在住の熊沢喜三郎さんと土岐市在住の小倉勝雄さんによって平成24年(2012)9月に発見され、地山名を採って天神山城、その上部に続く城跡を裏天神山城と名付けられました。

この城は、天正2年(1574)2月に織田信長が武田攻めのため鶴ヶ城に滞在し、本城の鶴ヶ城の北東の守りを固める支城として、警護職(常番)の重臣の河尻秀隆に命じて造らせたものと思われます。城跡は山の尾根を活用し南北400mにおよび、東からの攻撃に対応しています。造りは大胆なものではありませんが、山城としての機能は備えています。三つの城跡は周遊路も整備され、案内板も分かりやすく手入れされています。一度は巡ってみたい郷土の宝です。

<参考：瑞浪市公式ホームページ、みずなみかたりべの会資料>



土岐川南岸から見た鶴ヶ城、天神山城、裏天神山城

ふるさとカルタ紹介

 はらこ橋 益見と市原 結ぶ橋	 ひっそりと 草に埋もれた 吉野塚墓所	 福が来る 秋葉の里の 大黒天	 壁面の 模様がユニーク 廻り舞台	 本堂を 阿吽で守る 仁王さま
--------------------------	------------------------------	--------------------------	----------------------------	--------------------------

発行元	土岐地区まちづくり推進協議会	連絡先	☎0572-56-0136 (直通)	加藤
編集	情報発信部会	発行日	令和5年4月	

*本紙は瑞浪市夢づくり地域交付金を活用して発行しています。